

諮問事項に関する議論の進め方（論点と到達点）

議題2 家庭系可燃ごみの減量に向けた事業の検討

ステップ1 財源活用事業と重要事業のメニュー出し

スライド2の事業例を参考に、施策ごとに財源活用事業と重要事業のメニュー（案）を出します。

ステップ2 財源活用事業と重要事業の選定

施策ごとに財源活用事業と重要事業の案を選定します。
なお、重要事業は各施策3～5程度とします。

ステップ3 重要事業の事業量の検討

重要事業について、ごみの減量効果を引き出すために必要な事業量を検討します。この事業量は、ごみ減量施策の評価における「活動指標」として活用します。

ステップ4 重要事業の事業費及び効果の検討

重要事業について、ステップ3の事業量を実施するために必要な事業費を検討します。すべての重要事業の事業費を積み上げ、手数料収入の活用可能額に収まることを確認し、答申の実効性を高めます。

また、事業量から期待されるごみの減量効果を検討します。この効果は、ごみ減量施策の評価における「成果指標」として活用します。

議題3 継続的な点検・評価・改善の仕組みについて

ステップ1 基本的な点検・評価・改善の仕組みの確認

点検・評価・改善の基本的な仕組みについて、スライド1及び2を案として確認します。

ステップ2 政策目標と成果指標の項目を確認

政策目標については、これまでの審議会における議論の前提となっているため、検討の対象ではありません。（変更できません。）

成果指標の項目について、新たな追加や削除を検討します。

ステップ3 具体的な成果指標の設定

成果指標の各項目について、各年度の具体的な基準を設定します。

また、新たな項目については、成果指標の計測方法についても検討します。

ステップ4 活動指標の確認

活動指標は、重要事業の事業量なので、議題2で確認できています。

どの成果指標と関連があるか、成果指標に照らして十分な事業量かを確認します。

また、「事業仕分け」による各重要事業の点検・評価と改善の手法について確認します。

第2回審議会の到達点

次回以降の検討テーマ